

CDDP+VNR併用療法（SH法）

シスプラチン 75mg/m2 day1
ナベルビン 25mg/m2 day1, 8

適応： 非小細胞肺癌

審査日： 2019年 10月 22日

承認日： 2019年 10月 22日

催吐リスク：

HEC

血管外漏出リスク：

壊死性

1サイクル期間： **21日間**

Rp	時間	薬剤	投与方法	投与時間	day1	day2	day3	day4	～	day8	～	day21
①	プライミング用	生理食塩水50ml	点滴静注		●					●		
②	9:00	イメンドカプセル125mg 1Cap	内服		●							
③	10:00～10:30	生理食塩水100ml+アロキシ0.75mg+デキサート9.9mg	点滴静注	30分	●							
④	10:30～10:35	生理食塩水50ml+ナベルビン	点滴静注	5分	●							
⑤	10:35～11:00	生理食塩水250ml	点滴静注	25分	●							
⑥	11:00～12:00	ラクテック500ml+アスパラK 10mEq+硫酸Mg 8mEq	点滴静注	60分	●							
⑦	12:00	生理食塩水20ml+ラシックス20mg	静注		●							
⑧	12:00～14:00	生理食塩水500ml+シスプラチン（合計500ml）	点滴静注	120分	●							
⑨	14:00～15:00	ラクテック500ml+アスパラK 10mEq	点滴静注	60分	●							
⑩	10:00～10:05	生理食塩水50ml+ナベルビン	点滴静注	5分						●		
⑪	10:05～10:30	生理食塩水250ml	点滴静注	25分						●		
⑫	フラッシュ用	生理食塩水50ml	点滴静注		●					●		
⑬	9:00	イメンドカプセル80mg 1Cap	内服			●	●					
⑭	9:00	デカドロン錠4mg 2錠	内服			●	●	●				

プレメディケーション	特になし
ポストメディケーション	投与翌日から経口にてデキサメタゾン8mgを3日間継続。点滴開始前～点滴終了後および3日目まで1日1000mLを目安に飲水。
投与・調整時に注意する点	ナベルピンはpH3.3～3.8で酸性であるため強い血管刺激性を有する。血管炎・静脈炎を予防するために投与は10分以内で終了し、投与後は補液により管内の薬液を十分に洗い流すことが望ましい。シスプラチンは要遮光アミノ酸輸液や乳酸ナトリウムを含む輸液との同時投与はシスプラチンの分解が起こるため避ける。

【根拠となる論文】

J Clinical Oncology, 19(13), 2001: 3210–3218. K Kelly et al; Randomized Phase III Trial of Paclitaxel Plus Carboplatin Versus Vinorelbine Plus Cisplatin in the Treatment of Patients With Advanced Non–Small–Cell Lung Cancer: A Southwest Oncology Group Trial.